

## 第4回通常総会を開催しました

地域自然情報ネットワークの第4回通常総会が、8月26日に東京学芸大学で予定通り開催され、無事終了しましたので報告します。

### ○総会の成立

6月30日(第4期の期末日)現在の正会員数は60名で、総会の定足数はその1/3の20名です。出席者10名、議決権行使書提出済欠席者23名、合計33名でしたので、総会は成立しました。

### ○小泉理事長の挨拶

GCNもこの7月から5年目に入りました。昨年度は神楽坂に初めて事務所を構え、非常勤職員も採用するなど、NPO法人として大きな発展を遂げたといつてよいと思います。また事務局長も長年担当していただいた吉田直隆さんから淀川正進さんへ変わるなど、大きな変化がありました。残念ながら、一昨年度に比べて事業規模が縮小し、財政的には苦しい状況になって参りましたが、やってきたことは社会的に有意義なことであると考えております。すでに野外での巡検を増やそうといったような提案が出ております。本日は暑い中、わざわざお集まりいただき、ありがとうございます。

今年度はこうした懸案を少しずつつかつづけるとともに、新たな展開を目指していきたいと思っています。今日の総会では議論を深めてもらい、会の発展につながるような方向を見いだしたいと思します。どうぞよろしく願いいたします。

### ○議長選任および議事録署名人選任

議長に小泉理事長を、議事録署名人に増澤、井本両副理事長を満場一致で選任しました。

### ○議事

#### 1) 第1号議案 平成18年度事業報告および同収支決算報告承認

淀川事務局長が事業および決算について報告を行い、個々の項目について質疑応答しました。GIS講習は受講生が減る向にあるが、GCNにとっても社会にとっても意義ある事業なので、続ける工夫と努力をして行くべきである、多くの価値ある成果をあげているにもかかわらず、会員および一般に対する広報が少な過ぎるので、的確な広報に注力すべきである、などの議論がなされました。

北川監事が、事業報告および決算報告について適正で問題点はないとの、監査報告を行ないました。

平成18年度事業報告および同収支決算報告を満場一致で承認しました。



通常総会の様子

#### 2) 第2号議案 平成19年度事業計画および同予算案承認

淀川事務局長が事業計画および予算案について説明を行い、質疑応答を行いました。広報の整備を早急に実施する、組織運営の安定・信用の拡大・社会的信頼と期待への対応には、ある程度以上の事業の推進が不可欠である、厳しい財政状況に対応してできる限りの経費の節減に努める、などの議論がなされました。

平成19年度事業計画および同予算案を満場一致で承認しました。

#### 3) 第3号議案 役員退任および就任

吉田直隆理事の退任(辞任)および淀川正進事務局長の理事就任を満場一致で承認しました。

以上のように参加者がやや少ないのが残念でしたが、各議案に対する議論は活発に行われ、来期に向けての方向性も確認されたと思います。役員一同これまでにも増して努力していくつもりですので、会員をはじめ多くの支援者の皆様のご助力とご協力を宜しくお願ひします。(淀川正進)

#### 理事辞任の挨拶(吉田直隆)

昨年8月まで事務局をお預かりしておりました吉田直隆です。事務局移転を機に現事務局長の淀川正進さんにお役目をお引継ぎ願ひしました。その後発覚した少々厄介な症因により理事の職責に耐えぬと判断し、勝手ながら11月末日で理事を辞任させていただきました。ご挨拶が遅くなり申し訳ありません。関係の皆様には2002年の設立準備期以来いろいろの勉強をさせていただきました。ここに改めてお礼申し上げます。

#### 理事就任の挨拶(淀川正進)

一年間事務局長をやり、GCNの良いところも問題のあるところも分かってきたような気がしています。設立当初の趣旨やミッションに立って、堅実にしかし新しいことに挑戦していきたいと考えています。会員をはじめできるだけ多くの皆さんに開かれた、一緒に活動のできる組織にできればと思っていますので、皆様のご協力を宜しくお願ひいたします。

#### ホームページのURLが変わりました!

GCNのホームページのURLが

<http://www.geo-eco.net/>

に変更になりました。管理者も青木理事から事務局に変わりました。

青木さんにはHPの立ち上げから運営まで、GCN設立時より永年にわたりお世話いただきました。

# ESRI ユーザーカンファレンスに参加しました

GCN では米国 ESRI 社の自然環境保全活動に関わる支援プログラムであるコンサベーションプログラムに日本で唯一、団体として登録し、活動のために ArcGIS 製品の供給支援をうけています。これは財政基盤が弱い小さな NPO にとってはとてもありがたいことですが、もう一つ特典として、年に一度、世界中の ESRI ユーザーが集まるユーザーカンファレンス (以下 UC) に参加できるような支援を受けています。この UC に今年は GCN からは正会員の古川、役員増澤ほかが参加しましたのでご報告します。本大会の概要については [http://www.esri.com/community/event/uc\\_esri2007/index\\_u\\_e2007.shtml](http://www.esri.com/community/event/uc_esri2007/index_u_e2007.shtml) をご覧ください。

第 23 回 UC は、2007 年 6 月 18 日から 23 日までの日程で、米国カリフォルニア州サンディエゴにおいて開催されました。主催者発表では今回の UC 参加者は世界中から 13500 人となっており、日本からは 110 人の参加があったものです。GCN では、この UC が NPO 設立のきっかけの一つとなっていたこともあり、ここ数年、毎年何人かが参加し、自然環境保全や野生生物保護を中心とした GIS・GPS に関わる最新事例や動向に関する情報収集と、ポスター発表による情報発信などを行っています。



セッション会場 (一部)

## ●基調講演～ワングリ・マータイ博士

基調講演は The Green Belt Movement の活動でノーベル平和賞を受賞した日本でも「もったいない」で有名なワングリ・マータイ博士でした。マータイ博士は、4 つの R (Reduce Refuse Recycle Reuse) の概念や風呂敷 (\*小池元環境相が贈呈) の使用とといっただけでもできる環境保全活動を紹介しました。

また、様々な理由で破壊された自然の再生と貧困に苦しむ女性の地位向上のため、彼女の団体が約 30 年にわたり 4,000 万本以上の植林を行ってきたことを紹介しました。リソースを巡る人々の争いはすべて環境保全の失敗によるものとし、植林活動のモニタリング、そしてプランニングに GIS を用い、ケニヤを中心とするアフリカの問題解決にアプローチしていると話しました。

博士は、一羽で山火事の消火を試みるハチドリの話を用い、「到底太刀打ちできないと思われる事柄に対してでも、自分のベストを尽くすこと。たとえそれがどんなに小さな挑戦であっても、それが変化を造り出す第一歩である」と講演の最後を締めくくりました。力強くそしてとても心を打つ講演で会場はスタンディングオベーションに包まれました。

## ●ユーザ事例発表

ユーザ事例発表 (セッション) では約 40 分野、1000 本以上のユーザ事例発表があり、日本からは、福島県鳥獣保護センター、慶應義塾大学、横浜国立大学、パスコなどが発表を行っています。

これら多くの分野のうちとりわけ環境保全活動に関する分野を中心に出席しました。とくに NPO である Society of Conservation GIS (SCGIS) のブースで行われた環境保全と GIS に関する事例発表は興味深いものでした。

SCGIS のブースでの発表では、SCGIS が援助を行って種の保全に関わった事例が毎年数多く発表されます。その数もブースの広さも年々大きくなっているのが特徴です。多くは南米・アジア・アフリカ諸国での GIS 活用事例発表で、これらの国々では GIS や保全に関する国家的予算が乏しいため、SCGIS から必要な援助を受けて GIS を用いた実践を行っているわけです。また、援助を受ける代償としてこのようなカンファレンスや学会で発表する義務があるわけです。

発表内容のみをみると、技術面において日本の学会発表などとは特に差はないようにみられました。たとえば使っている拡張機能や、データの取り方からみても、日本の事例のほうがより詳細で緻密なデータを取得しているとも見ることができます。しかし、GIS から得られた成果を活用し、すぐ保全施策に生かす事例がほとんどで、このような実行は海外事例のほうがかなり秀でてるように感じました。

(古川泰人 増澤直)



GIS 解析



ゾーニング計画

## 編集後記

第 4 回通常総会において、広報の拡充に対する強い要望が出ました。ニュースレター、ホームページの運営に皆さんの協力と参画、特に記事の提供を宜しくお願いします。(淀川)

## 編集・発行

NPO 法人地域自然情報ネットワーク 事務局

〒162-0812 新宿区西五軒町 5-14 早川ビル 101

TEL/FAX 03-3260-3795

URL <http://www.geo-eco.net/>

Mail [GCN-office@geo-eco.net](mailto:GCN-office@geo-eco.net)